

ゴールへのたし算か ゴールからのひき算か

札幌国際大学 准教授 安井政樹



「くやしい!!」

これは、とっても素晴らしい思いです。ただし、その思いの表れ方に問題があるのです。

「どうして失敗したの」「だから言ったでしょ…」というような過去を向く言葉を大人はよく言ってしまいます。こうした経験により、失敗を恐れるようになってしまうのです。

テストで「どうして間違ったの?」と言われても、もう点数は上がりません。過去を向いている言葉だからです。ですが、「次は、どうしたらパワーアップするかな?」と未来志向になると、自分の手で変えることができるチャンスにつながります。

「くやしい!」という思いが過去に向くと、腹が立ってしまい「なんでこうなったんだろ」「どうして…」とイライラしてしまい、テストのせいにしてたり、他人のせいにしてたり、自己嫌悪に陥ったり…。これは、ゴールからの引き算で考えている状況です。自分は、ゴールまで行きたいのに、これだけ足りない、だからダメなんだ。という自分の課題ばかりに目がいてしまいます。

番組では、「D」まいーか」が登場します。

- 自分とおなじ失敗をする人もいる
- 失敗はだれにだってある
- 失敗が失敗じゃないこともあるし、成功につながることもある

と「失敗は悪いことではない」と視野を広げてあげることで、安心する子もいるでしょう。

「ま、いーか! (まあ、いいか)」は、過去への執着を捨て、未来に気持ちを切り替えるための合言葉(魔法の言葉)になるはず。そうすることで、「ゴールに向かって何をしたらいいのか」、と未来志向のたし算(これからの成長)の考え方になっていくのです。

「くやしい!」は、こうした「次に向かうエネルギー」となったときに、素敵な感情になるのです。

ただし、「失敗は悪いことではない」という言葉を表面的にとらえてしまう子もいるかもしれません。「失敗してもいいもん。」では、ゴールへのたし算になっていません。失敗を通して成長していくという思いを共有し、大人も子どもも失敗しながら成長していきたいですね。